

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 高根里咲
所属 (School) 工学研究科 物質・化学系
学年 (Grade) 修士 1 年

留学先 (Name of overseas institution)
スイス連邦工科大学チューリッヒ校
留学期間 (study abroad period)
2019/10/26~2019/11/2

記入日 (Date) 2019/11/8

留学レポート Study Abroad Report

はじめに

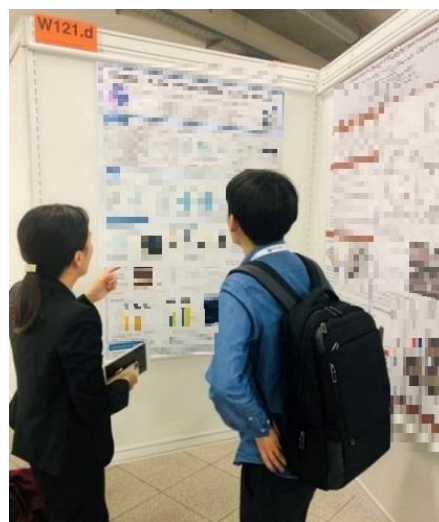
私は 2019 年 10 月 27 日~10 月 31 日に、スイスのバーゼルで開催された MicroTAS2019 (23rd International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences) という国際学会に参加し、ポスター発表を行いました。また、10 月 30 日には ETH (Swiss Federal Institute of Technology Zurich、スイス連邦工科大学チューリッヒ校) の Prof. Petra S. Dittrich の研究室を見学をさせていただきました。このレポートでは、学会への参加と大学の研究室見学について感じたことについて報告します。

学会への参加

私は Congress Center Basel にて開催された MicroTAS2019 に参加し、ポスター発表を行いました。この学会は口頭発表とポスター発表からなり、様々な国からたくさんの方が参加する大規模な学会でした。そのため、自分とは研究分野が異なる方が多く、そのような方に自身の研究内容を正確に伝えるのは苦労しました。しかし、身振り手振りを交えて何回も繰り返し、実験結果の画像や動画等を用いて説明することで多くの方々に真剣に発表を聞いていただくことができました。

また、口頭発表やポスター発表を聞いて回る際には、自分の研究分野だけにとどまらず、様々な分野の方のお話を伺うことができました。英語を母国語としない国の方々も研究内容を流暢な英語で説明しており、このような場において自分の考えを正確に伝えるためにより語学力を高める必要があると痛感しました。

さらに、学会では学生を対象としたイベントも実施され、このようなイベントや発表の場を通じて様々な国の方と交流することができました。私は後日このイベントを通じて知り合った台湾およびアメリカの大学の学生と昼食を一緒に食べる機会がありました。彼らと話している中で、皆自分の将来について明確なプランを持っており、それを知り合って間もない私に熱心に説明してくれことがとても印象的でした。



(写真左) 学会が行われた congress center basel、(写真右) 自身のポスター発表の様子

* ETH への訪問 *

ETH (Swiss Federal Institute of Technology Zurich), Department of Biosystems Science and Engineering, Bioanalytics Group の Prof. Petra S. Dittrich の研究室を見学させていただきました。私たちが訪れたバーゼルのキャンパスはバーゼル市の郊外にあり、そこには修士課程以上の学生が所属する研究室と企業が同じ建物内にあるため、構内に入る時だけでなく建物や各フロアの研究室があるスペースに入るためにもカードによる認証が必要であり、セキュリティが厳重でした。見学させていただいた Prof. Petra S. Dittrich の研究室はポスドクには 2 人 1 部屋、また修士および博士課程の学生にも 1 部屋 3 人~4 人の広々とした居室が与えられていました。また、修士および博士課程の学生の居室はドアを介して一続きになっており、それぞれがガラスドアを挟んで実験室と隣接しているため、居室および実験室間の移動がしやすく、研究を行う上でとても効率的なレイアウトでした。

私たちは 4 つの実験室を案内してもらいました。これらの実験室には培養室と顕微鏡が組み合わされた装置や、この研究室のチップデバイスと液体クロマトグラフィー質量分析計を組み合わせた装置などを見せてもらいました。写真撮影が禁止されていたので様子を載せることができませんが、それぞれの実験室はどれも広く実験器具や装置が整然と並べられており、高度な研究環境が整っていました。

今回の研究室を見学している中で学生の積極性がとても印象的でした。私たちが実験室や研究室を案内してもらっていると、積極的に自分の研究に用いているチップデバイスや装置を一つずつ丁寧に紹介してくれました。自分の研究を相手に理解してもらおうと積極的に私たちに話しかけてくれている姿勢を私たちも見習わなければならないと感じました。



(写真) ETH の Department of Biosystems Science and Engineering

* さいごに *

今回の国際学会への参加および研究室見学は大変貴重な経験となりました。国際学会では様々な分野の方が参加されるからこそ、いつもとは違った視点からの意見を聞くことができたり、今世界ではどのような研究がなされているのかを研究している方たちから直接伺うことができ、その熱意を肌で感じることもできました。一方で自分の研究を正確に伝えるためには語学力を向上させる必要があると痛感しました。また、研究室見学では、高度に整った研究環境やそこで研究している学生の熱意を感じ、大変良い刺激になりました。このような貴重な経験を与えていただいた関係者の皆さまと国際学会 Plus 奨励金制度に深く感謝いたします。



(写真左) 研究室を見学したメンバー、(写真右) ライン川